

PCSA アクションレポート（法律問題研究部会）

平成 30 年 1 月版

第 173 回法律問題研究部会

開催日時 平成 30 年 1 月 27 日（土） 午後 1 時～午後 4 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 部員 13 名、賛助部員 2 名、合計 15 名

出席者 <リーダー>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役

<サブリーダー>

八重樫 浩輝 株式会社合田観光商事 執行役員 業務推進部 部長

<部員>

辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長

生島 靖也 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 法務担当

影山 健二 株式会社ニラク 内部監査室 内部監査担当

佐久間 仁 株式会社ニラク 法務部 グループマネージャー

吉田 一雄 株式会社 TRY&TRUST 監査

若林 昇 株式会社キョウサン

小林 浩 株式会社ヒカリシステム 第 1 営業部 ディレクター

武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 兼 監査室 課長

小林 正俊 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 係長

志方 崇 株式会社チアエンタープライズ 専務執行役員

西里 実 株式会社三永 経営戦略室 室長

<賛助部員>

石黒 勝 三本コーヒー株式会社 管理部 取締役 統括本部長

長嶋 敦志 グローリーナスカ株式会社 サブマネジャー

1) 依存問題対策プロジェクトチーム 報告

全日遊連全国理事会での山田好孝課長の講話内容、21 世紀会プレスリリースの依存に関する内容を確認した。また、安心パチンコ・パチスロアドバイザーでは昨年 12 月 21 日に運用開始というお知らせがあり、組合加盟店はツールなどを受け取っている。また、アドバイザー講習会については、全日遊連遊連 非加盟店舗が受講しづらい状況が続いている。また、他に JRA（競馬）の家族申告プログラムの内容も確認した。今後、政府からパチンコ業界にも家族申告プログラムの充実が要請される公算が高いと見積もっている。また、一般社団法人 RCPG のギャンブル依存問題にかんするセミナーが 2 月に開催されるという案内を得た。

2) 遊技機の適正排出のお願いについて（日遊協 2017 年 12 月 18 日）

本年 10 月 2 日に開催された日遊協 遊技機リサイクル推進委員会において、日工組より、遊技機の排出（廃棄）について適正に処理して頂きたいというお願いがされた。遊技機に貼付されている製造番号や主基板管理番号を消して排出する事例や、主基板以外の遊技機を排出される事例が散見されており、メーカー各社で機歴管理を行い、処理済み遊技機を特定する事が必須な為に今回のお願いが出された。

部会では、遊技機の廃棄処理をきちんとすべきだと確認、注意喚起がされた。

3) 遊技機性能調査の結果（概要）について（機構 2017 年 12 月 20 日）

平成 27 年 6 月 1 日から開始、平成 29 年 11 月までの「遊技機性能調査」の結果が機構より報告された。2 年 6 ヶ月間、ぱちんこ遊技機の一般入賞口への入賞状況であり、平成 29 年 1 月からは、一般入賞口への入賞が検査対象のぱちんこ遊技機において 100%確認されている。

部会では、今後もこの調査が継続されるという予想やくぎ調整シートが更に厳格に運用されるのではという意見が出た。

4) 18 歳未満立入禁止対応について

全日遊連から傘下会員へ、18 歳未満が遊技をしてしまった後、出玉没収の上遊技料金の返金はしないという方針を通知した。その内容を共有し意見を交換した。

5) 法律問題研究部会 質問コーナー 2018.1

Q2-1:遊技機取扱主任者について

遊技機の取扱主任者は、現在 1 店舗当たり何名か？

また、今後どのような人数構成(1 店舗当たり何名?)にしていくつもりか教えて下さい。

- ・ほとんどの会員企業で 1 店舗当たり 1 名で、店長が資格を取得していることが多い。
- ・副店長、エリア長など複数名が取得している事もあり。
- ・異動などによって資格取得者が店舗にいない場合もある。
- ・今後も店舗に 1 名体制は継続する企業が多かった。

Q2-2:会員カード再発行について

会員カードの再発行時にお客様に手数料を支払って頂いているか？

また、その支払いは、どういった形態なのか教えて下さい。(玉、又はメダル、又は現金)

- ・再発行は無料の会員企業が多い。
- ・2 回目以降の再発行で 500 円、また 1 年以内の再発行では 200 円だが、2 年目以降は経年劣化を考えて無料としている会員企業などもある。

Q3-1:前倒し認定について

認定日は全国一律 0201 となっているが、これに合わせて通知書は本当に出るのか？

→過去、通常の認定のケースだが、検定満了翌日でない日付で認定通知が出たケースあり

- ・所轄に聞いて確認すべき。

Q3-2:速やかなチェーン店間移動

問題として、チェーン移動を速やかに行ないたく考えてますが、認定通知書まで待つ必要があるのか？

所轄によって通知書の受領が遅れる場合、上記の対応に支障をきたす恐れがあるのでご質問です。

※長野県の組合文書では「認定通知書が出るまでは『検定機』であり、勝手に移動・撤去しないでください」とあるが、全国この考えで良いのか？

- ・所轄に聞いて確認すべき。

6) 拡大部会提案について

開催予定日：①6 月 29 日（金）～30 日（土） ②10 月 26 日（金）～27 日（土）

<意見>

- ・依存対策の進んでいる県、地域、企業などを訪問したい。

- ・拡大での開催目的を明確にしたい。
- ・リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）を訪問したい。

7) 全日遊連 全国理事会 山田好孝 課長講話について

平成 30 年 1 月 19 日開催の全日遊連全国理事会にて警察庁山田好孝保安課長の講話の内容について情報を共有、意見を交換した。

1. 依存問題
2. 児童の車内放置防止
3. 射幸性の抑制
4. 検定機と性能が異なる可能性のある遊技機
5. 遊技機の不正改造
6. 遊技機の流通健全化
7. 賞品
8. 広告宣伝
9. 置引対策

<意見>

- ・依存問題対策として「実効性のある取り組みをやる」というのが非常に重要だと感じている。
- ・「家族申告プログラムを本人同意なしで実施」に変更となるかもしれない。
- ・「釘確認シート」の仕様、運用方法がより厳格になるのではないか。

9) 次回開催

平成 30 年 2 月 24 日（土） 午後 1 時～4 時 PCSA 会議室

以上